FY2018
Consolidated Business Results

東証一部:3937
株式会社Ｕｂｉｃｏｍホールディングス

2019年３月期 決算説明資料

© Ubicom Holdings, Inc.

2019年３月期 決算概要

© Ubicom Holdings, Inc.

2019年3月期ハイライト

すべての利益が前期比約170%の増益
営業利益および経常利益において過去最高益を5期連続更新

売上高	3,555百万円	（前期比110.8%）
経常利益	591百万円	（前期比166.4%）
営業利益	564百万円	（前期比175.1%）
当期純利益	368百万円	（前期比173.2%）

© Ubicom Holdings, Inc.

決算概況（P／L）

・高収益ビジネスモデルの確立に加え、グローバル事業において15社の大手新規顧客を獲得、メディカル事業において新商品のローンチが寄与し、マーケットが大幅に拡大

・更には売上高経常利益率が前期比+5.5pts上昇し16.6%に

（単位：百万円）	2018年3月期 金額	2018年3月期 売上比率	2019年3月期 金額	2019年3月期 売上比率	2018年5月14日公表 予想値比
売上高	3,208	100.0%	3,555	100.0%	98.2%
営業利益	322	10.0%	564	15.9%	124.3%
経常利益	355	11.1%	591	16.6%	123.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	212	6.6%	368	10.4%	130.8%

© Ubicom Holdings, Inc.

グループ決算トピックス

グローバル・メディカルともに高収益モデルを確立

経常利益予想値480百万円*から591百万円（+111百万円）と大幅な増益を達成（* 2018年5月14日公表）

- **グローバル事業においてコア技術を搭載した独自エンジンをアセット化、収益性の高い案件を積み上げ**
- **15社の大手インターナショナルカンパニーの新規案件を獲得**
  （外資系大手自動車メーカー、大手コンピューターゲーム開発製造メーカーほか）
- **人的リソースのプラットフォーム化による効率的な運用を実施**（機会損失の回避。エンタープライズにおいては稼働率10pts以上の上昇）

- **メディカル事業におけるサブスクリプションモデルの確立**
  （Mighty Checker 営業利益58．4%（17年度）→**59．4%**（18年度））
  （Mighty Qube　営業利益56．4%（17年度）→**65．1%**（18年度））
- **戦略的新商品Mighty Checker EX 投入による市場拡大**

グループ全体のトピックス

Win-Winインベストメントモデルの推進

＜当期トピックス＞

生体認証による本認証・決済サービスを手掛ける**株式会社Liquid**（経済産業省／総務省：先進的IoTプロジェクト最優秀グランプリ企業）との**資本業務提携**

会話を通じてユーザーの個性や趣味嗜好を学習することを特徴に人間の感情を認識するパートナーロボット「ユニボ」の開発を手掛ける**ユニロボット株式会社との資本業務提携**

当期進捗トピックス

Ubicom-Liquid
（当期トピックス）
・2018年度4Qにかけて
将来のラボ型開発に向けたテスト開発が終了

© Ubicom Holdings, Inc.

決算概況（セグメント別）

グローバル事業

（単位：百万円）	2018年3月期 金額	2018年3月期 売上比率	2019年3月期 金額	2019年3月期 売上比率	前期比
売上高	2,057	100.0%	2,307	100.0%	112.2%
営業利益	271	13.2%	457	19.8%	**168.8%**

ソフトウエアテストあるいは製造ラインの検査工程の「自動化」や「分析」等の当社コア技術を搭載した独自エンジンをアセット化。大手クライアントを中心に、モバイル＆クラウド等の開発基盤を活用した収益性の高い案件受注が大きく伸長。

メディカル事業

（単位：百万円）	2018年3月期 金額	2018年3月期 売上比率	2019年3月期 金額	2019年3月期 売上比率	前期比
売上高	1,178	100.0%	1,283	100.0%	108.9%
営業利益	371	31.5%	446	**34.8%**	120.4%

次世代型レセプトチェックシステムの市場投入を実施。大手病院グループを含む多数の病院から引き合い。医療の効率化や病院経営の改善ニーズ等を背景に、レセプト点検ソフトウェア市場におけるリーディングカンパニーとしての磐石な収益基盤を構築。
サブスクモデルの確立により、当4Qにおいて翌期を見据えた戦略的投資を実施。当投資を吸収し前期比大幅な増益を達成。

© Ubicom Holdings, Inc.

決算概況（Ｂ／Ｓ）

盤石な財務基盤の確立により成長投資ができるポジションと株主還元の両立を実現

（単位：百万円）	2018年3月期	2019年3月期	前期末増減額
流動資産	2,048	2,532	483
（現預金）	1,210	1,637	426
固定資産	438	561	122
総資産	2,487	3,093	606
負債	1,193	1,403	209
（有利子負債）	104	135	30
純資産	1,293	**1,690**	**396**
自己資本比率	52.0%	54.6%	2.6%

© Ubicom Holdings, Inc.

グローバル事業のトピックスと展望

© Ubicom Holdings, Inc.

グローバル事業のトピックス

既存顧客とのパートナーシップによりコアソリューションを確立

＜当期トピックス①＞
・大手既存顧客との**パートナーシップ深化**（これまでの受託開発からソリューション開発パートナーシップへの関係強化）

＜当期トピックス②＞
・長年の**直取引で培った「技術ノウハウ」と当社「先端技術」を融合**させ、独自ソリューションの「コアエンジン」を確立

・グローバル事業部においては**医療・自動車・製造・電機メーカーなどの領域**、エンタープライズ事業部においては**金融・フィンテック領域**におけるプロジェクトが倍増

© Ubicom Holdings, Inc.

グローバル事業の展望

コアソリューションの横展開により更なる高収益化を実現

大手既存顧客/新規アライアンスパートナーとマーケットイン型の革新的なコアソリューションを創出
戦略市場のリーディングカンパニーへの導入実績のもと**市場浸透・サブスクリプションモデル**を加速

© Ubicom Holdings, Inc.

メディカル事業のトピックスと展望

© Ubicom Holdings, Inc.

メディカル事業のトピックス

【1】Mightyシリーズ導入医療機関数の伸長

＜当期トピックス＞

- ・サブスクリプションモデルに　よる**収益基盤の強化・拡大**　（Mighty CheckerおよびMighty Qubeの売上高総利益率 **約75%**）
- **AI検知を含めた戦略的RPAモデルである**Mighty Checker EX**を市場投入**

＜導入実績＞（2019年3月末時点）

国立大学病院
約58%　26/45施設中

病院（20床以上）
約35%　3,009/8,480施設中

クリニック（19床以下）
約12%　12,000/102,000施設中

/stock.adobe.com/jp/images/building-icons-set/45049977?prev_url=detail

当期トピックス：
売上高トップクラス医療グループ内の　病院にて新たに導入決定、今後グループ　全体に拡販推進

© Ubicom Holdings, Inc.

メディカル事業の今後の展望

【2】『レセプト点検×　AI』新Mighty市場浸透・新領域展開

「15,000医療法人の声」×「30年以上に渡り蓄積された技術力・データ」×「グループの経営資源」の活用により、機能およびユーザビリティーが大幅に向上

「製品の圧倒的優位性」

①AI検知を備えた新機能強化
②優れたUI（ユーザーインターフェース）
③導入実績
（1.5万を超える医療機関の声を吸い上げ）

「経営資源の優位性」

・サブスクモデルの確立による磐石な収益体制
（75%を超える売上総利益を達成）
・積極投資（営業・開発R&D)
・分析エンジン・クラウドエンジンの更なる革新
（グループ技術力の横活用）

大手グループ病院・学会アカデミックとの直接取引を推進

30年以上に渡り蓄積された技術力・データを活用して「新領域（生損保領域等）」へ展開

© Ubicom Holdings, Inc.

来期計画および今後の成長ビジョン

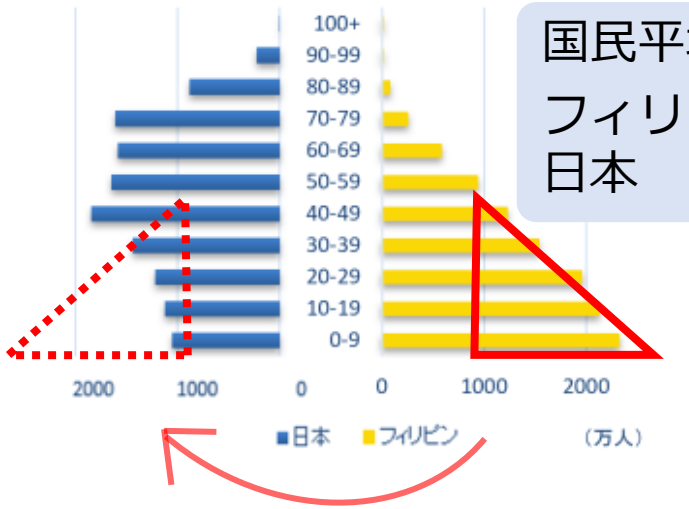
© Ubicom Holdings, Inc.

グループを取り巻く外部環境

グローバル・メディカル事業ともに成長に更なる追い風

グローバル事業

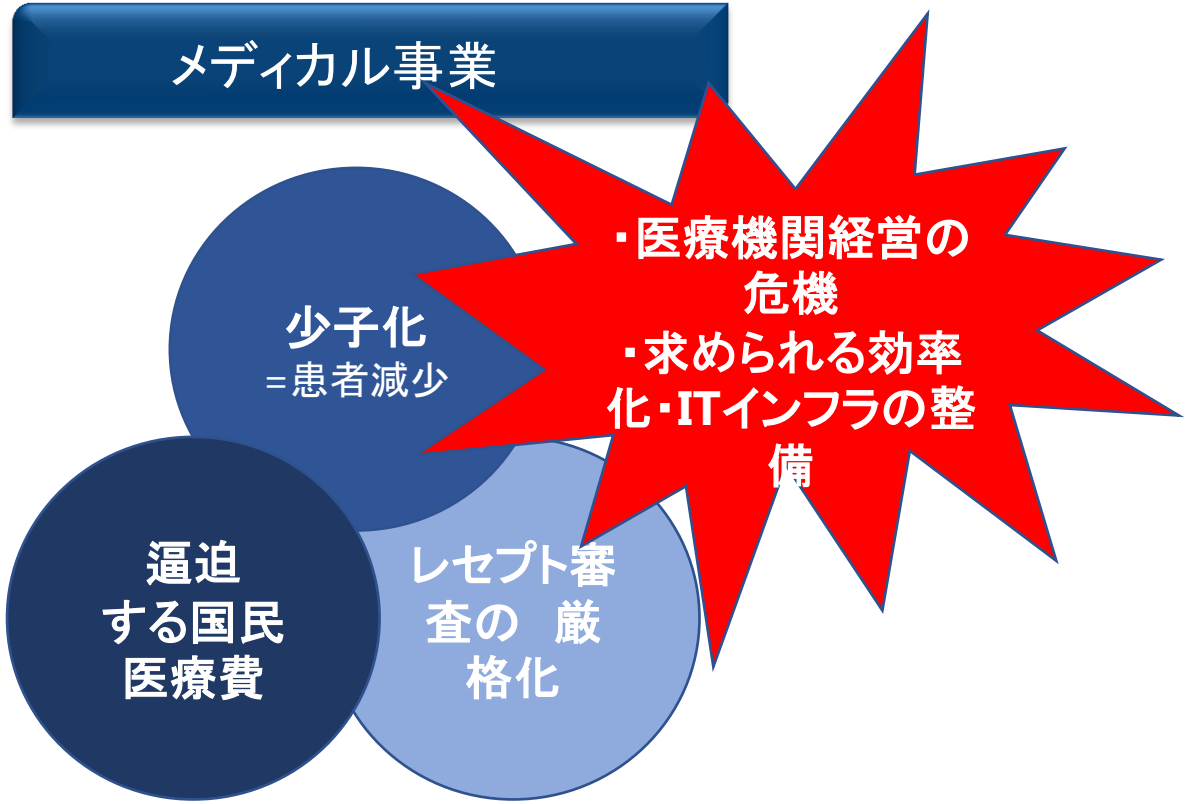
2020年日本・フィリピン人口推計



国民平均年齢
フィリピン**24歳**
日本 **47歳**

2020年に36.9万人、
2030年に78.9万人の国内IT人材が不足
（経済産業省発表）

メディカル事業



【出典】経済成長率:The World Bank GDP growth
国民平均年齢及び図表:UN World Population Prospects 2017より、当社作成

© Ubicom Holdings, Inc.

今後の展望（翌期における投資展望）

中期を見据えて、これまでに例を見ない戦略投資を実行

- フィリピンにおける先端技術・R&D投資（例：ソフトウエアの自動化・AIを用いた異常検知、AIチャットボット等）
- 戦略的人材投資（AI人材・データサイエンティストほか）
- クライアントの急増に伴う、大規模プロジェクトをリードできる人材の登用
- アジア展開を見据えた、アジアトップ経営者の参画
- AIやRPA等のコンサルティングができる高度人材の増員。「高単価」モデルを創造
- 特定ドメインにてトップクラスの知見を有する人材（メディカル・金融・自動車ほか）の参画

今後の展望（今後の成長ビジョン）

高収益モデルの確立を経て、国益に資する事業を展開

- グローバル事業における、当社基盤技術を生かした**コアアセットの横展開**（ライセンス・サブスクモデル。目標売上高粗利率：**60%以上**）
- メディカル事業におけるサブスクリプションモデル・高収益基盤の更なる拡大（Mighty Checker/Mighty Qubeの目標売上高粗利率 **75%以上**）
- 新規事業：高度人材を活用した**「高単価」モデル**の推進（目標売上高粗利率：**60%以上**）
- 現在、各業界をリードする大手企業、ユニコーンとなりうるベンチャーとの**複数の提携（含M&A）検討**。オーガニックグロースに加えてWin-Winインベストメントの更なる推進により、事業成長の時間軸を加速

2020年3月期 業績予想

- 前年度に引き続き**営業利益・経常利益ともに過去最高益**を計画
- **翌期以降の更なる利益積み上げを見据えた「戦略的投資」を吸収**したうえで**経常利益成長率20%増**を目指す

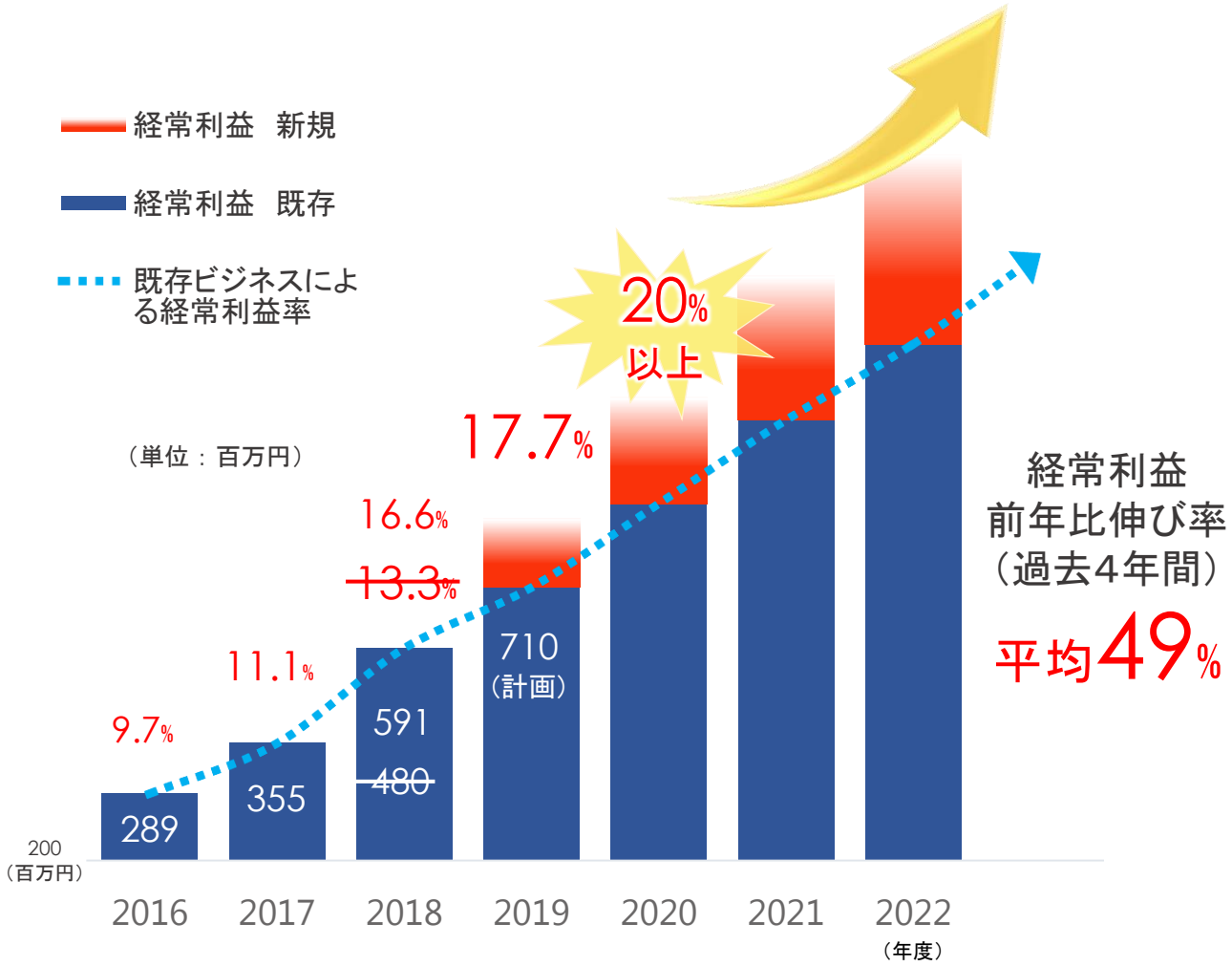
（単位：百万円）	2019年3月期 金額	2019年3月期 売上比率	2020年3月期 金額	2020年3月期 売上比率	増加率
売上高	3,555	100.0%	4,021	100.0%	13.1%
営業利益	564	15.9%	671	16.7%	19.0%
経常利益	591	16.6%	**710**	**17.7%**	**20.1%**
親会社株主に帰属する当期純利益	368	10.4%	443	11.0%	20.3%

※想定為替レートを保守的に0.45に設定

© Ubicom Holdings, Inc.

経常利益率20％以上の達成へ向けて

高収益構造の確立による経常利益率20%を目指し、翌期も計画を上振れるよう目指す



Win-Winインベストメントモデル

業務提携、資本提携、M&A

新規事業

社会問題解決型ビジネス

国策に合致した先進ソリューションの提供

RPA含む3A戦略：*Automation/RPA（自動化）*
Analytics（分析）
AI（人工知能）

戦略市場：自動車・金融・医療・製造/ロボティクス

サブスクリプションモデルの積み上げ
ソリューションビジネスの拡大

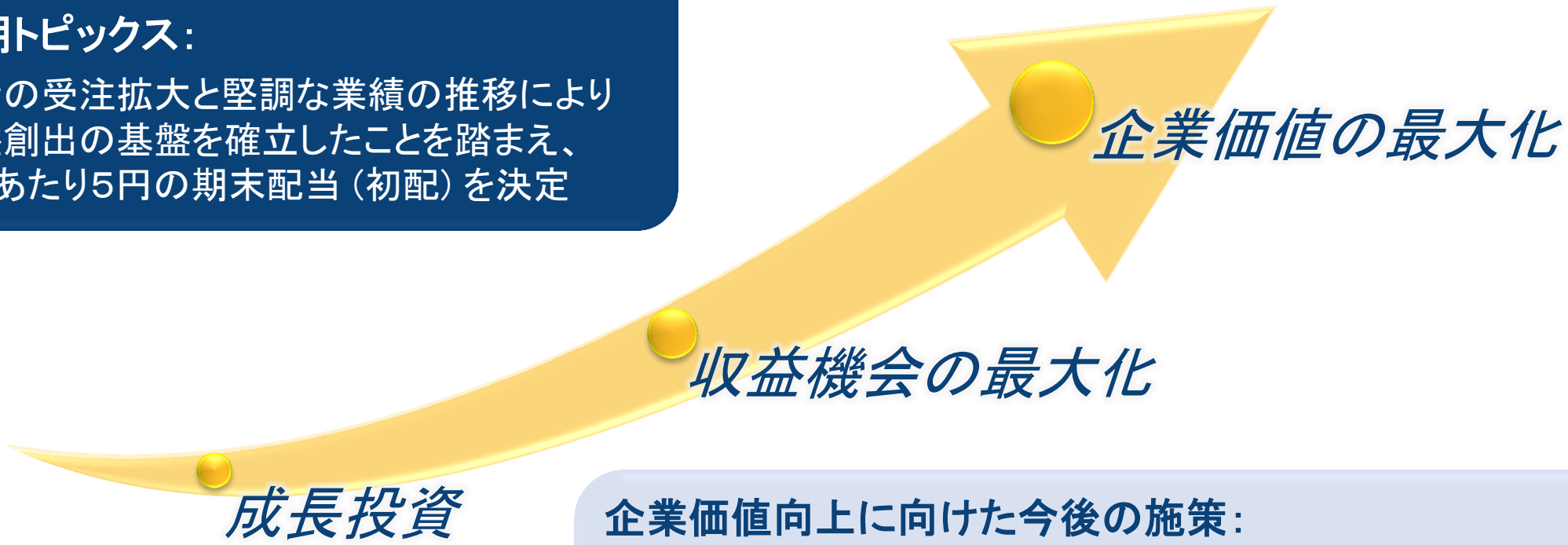
© Ubicom Holdings, Inc.

株主様に向けた還元策トピックスおよび展望

配当（初配）の開始および今後の株主還元の充実化

当期トピックス：

昨今の受注拡大と堅調な業績の推移により
利益創出の基盤を確立したことを踏まえ、
1株あたり5円の期末配当（初配）を決定



企業価値向上に向けた今後の施策：

1）**戦略的なサブスク事業モデル**への転換（安定的CF創出）
2）CFをテコに、**積極的な投資**を実施（人材・R&D・経営
　インフラ・協業先との新規事業）
3）**配当性向30%以上に向けた株主還元政策の充実化**

© Ubicom Holdings, Inc.

将来見通しに関する注意事項

◆ 本発表において提供される資料ならびに情報は、当社による現時点における推定または見込みに基づいた将来展望についても言及しております。

◆ これら将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。
それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、為替変動といった国内および国際的な経済状況が含まれ、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。

◆ 当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。

◆ 本資料における将来展望に関する表明は、利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、今後、新しい情報や将来の出来事等があった場合であっても、将来展望に関するいかなる記載も更新し、修正を行う義務を負うものではございません。

© Ubicom Holdings, Inc.